

2008年1月1日から2013年11月30日までに
当院救命センターへ外傷で入院された
患者さん、ご家族の方へのお知らせ

研究課題名：ドクターヘリが重症外傷患者の予後と経済効果に与える影響

川崎医科大学救急医学教室では、現在川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、上記研究を行っております。ドクターヘリは近年全国に広がりを見せていますが、重症外傷における、具体的な効果は明らかになっていません。ドクターヘリで搬送された患者さんと救急車で搬送された患者さんを比較し、ドクターヘリの有効性を明らかにすることが本研究の最終的な目的です。

- ・対象となるのは2008年1月1日から2013年11月30日までの当院救命センターへ救急車またはドクターヘリで搬送され、外傷で入院された方です。患者さんの年齢、性別、血圧などのバイタルサインと呼ばれる指標、採血結果、検査結果、重症度、退院までの日数、医療費に関する情報を収集し、検討します。
- ・研究成果は学会や論文に発表する予定ですが、患者さんの個人情報公表されたり、外部に漏れることは決してございません。
- ・本研究により新たに加わる侵襲や予想される有害事象はなく、患者さんの受ける利益および損失はありません。
- ・研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。
- ・上記の研究においてご自身の検査データや症状などが利用されることについてご質問がある方や参加を希望されない方は、お手数ですが、下記までご一報くださいますようお願いいたします。

<問い合わせ連絡先>

川崎医科大学附属病院 救急科 高橋 治郎
倉敷市松島 577
086-462-1111
j.takahashi@med.kawasaki-m.ac.jp